

蝶の親しみ方 -1

蝶と接し、自然を楽しむ方法は様々です。

観察 観察は全ての基本でしょうか。観察の対象は、蝶の全ステージすなわち、卵・幼虫・蛹・成虫はもちろんのこと、その環境、気象条件、他の昆虫を含めた動物、食草・食樹を含めた植物を含みます。さらに、その周辺の環境や時間的な変化も対象になります。そうすると、無限にやることがあります。できることから、でも継続は力です。いろいろと分かってくるが出てくるでしょう。通勤や昼休み、自然を観察すれば、日々感動の連続請け合いです。

幼虫の探し方

(幼虫は隠れる天才。簡単には見つからないが)

- 1 探す前にやっておくこと
 - ・どのチョウの幼虫をさがすか決めよう
 - ・幼虫について調べよう (ホームページや図鑑)
 - ・どんな形
 - ・どんなところにいる (公園、河川、き、神社、道ばたなど)
 - ・何を食べる
 - ・どんな巣(す)を作る
 - ・いつ産む
 - ・マナーを守ろう
 - ・他人の庭にかつてに入らない
 - ・大きな枝を折らない
- 2 幼虫の残したものをさがそう
 - ・葉っぱを食べた後はないか、食べたばかりか
 - ・フンは落ちていないか
- 3 一生懸命さがそう
 - ・葉を裏返す
 - ・葉の根元を見る
 - ・木をゆすって幼虫や蛹(さなぎ)を落とす
- 4 見ついたら
 - ・食草や食樹が家にあれば飼ってみよう (農薬に注意)
 - ・食草が用意できなければ続けて観察
- 5 天敵のハエやハチが出てくかも。

蝶の親しみ方 -2

散歩

カラタチ上のクロアゲハ幼虫

出発地



目的地

蝶の親しみ方

採集 ネットを持ち、自然の中で蝶を追いかけると、自然に親しむ基本の一つです。実際に虫に触り、殺すという行為は、生を知るにも重要だと思います。でも宗教的にも難しい問題ですね。殺すときには、生への重みを感じて欲しい。標本を作り並べるのは、切手を並べるのとは異なり、自然の多様性を知ることにつながります。種の多様性は、環境の多様性の賜物です。それにより環境保全の大切さの理解も深まると思います。



蝶の親しみ方

写真とビデオ ネットのかわりにカメラを持って追いかけると、蝶の生態がさらに分かってくる。多くの場合、まず成虫の美しさ、種類の多さを早く撮りたいと思います。次第に、生態のおもしろさに気がつくのではないのでしょうか。占有行動、求愛、交尾、産卵、吸蜜、休息、越冬、飛行...興味が尽きません。生きている蝶を生かして写し取ることを。

デジカメの基本は、蝶の生態を知り、カメラの機能を知ること。後はとにかく数をこなせば、今はやはり、広角接写で環境を蝶を同時に写し取ることか、私は、(国)を生かした望遠接写が好きですが、また、ビデオもどんどん進化し、ハイビジョンも家庭用がでました。これからはビデオの時代になるのもかもしれません。

メスアカミドリシジミの占有行動



蝶の親しみ方

飼育 飼育は、昆虫の生態を知る上で非常に重要だと思います。自然状態で継続的に幼生期を観察するのが理想ですが、なかなか困難です。庭や鉢に食草や植樹を植えることができると飼育はずいぶん楽になります。天敵を防ぐための袋かけ飼育や、タッパーなどに持ち込むにしても常に新鮮な葉や花を得ることが出来ます。



シャールにハギの花を入れ、ウラギンシジミを飼育

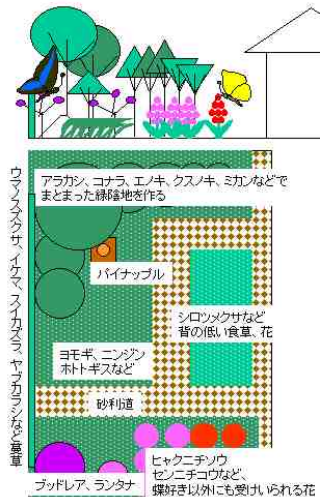


蝶の親しみ方 -1

バタフライガーデン バタフライガーデンというのは文字通り蝶の来る庭(あるいは公園)です。もちろん、どんな庭でも、偶然に蝶が通ることあるでしょうが、そこにちょっとした工夫をすれば、きっともっと多くの蝶がやってくるはず。蝶をよぶためには、成虫が訪れてくれることを意識し、蜜の多い花を植えたり発酵した果物を置いた庭と、きちんと一生を送って(くれる)ように、幼虫の食草・食樹を植えさらに、蛹化する場所や成虫が越冬する場所を意識してつくる庭もあります。ペランタなど、かなり制約されることも多いでしょう。ですから、一人一人が、自分でできる範囲で工夫することが重要なのだと思います。

バタフライガーデンの基本

- 1) 近所で観察しよう
- 2) 幼虫や成虫の食事を留意しよう
- 3) 時には天敵から守ろう
- 4) 家族や隣人に理解を得よう
- 5) 観察を記録し発表しよう



蝶の親しみ方 -2

バタフライガーデン お勧めの食草・食樹

食草・食樹	蝶
イネ	イチモンシセセリ
クスノキ	アオスジアゲハ
ミカン類(棘のないもの)、サンショウ	アゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ
ニンジン、パセリ、フェネルなどのセリ科	キアゲハ
ウマノスズクサ	ジャコウアゲハ
ミモザ、ネムノギ	キチョウ
キャベツ、フロッコロニ、葉ボタン	モンシロチョウ
シロツメクサ(クローバー)	モンキチョウ、ツバメシジミ、シルビアシジミ
ハギ(ミヤギハギ)	ルリシジミ、ウラナミシジミ
カタバミ	ヤマトシジミ
アラカシ、クヌギ、コナラ	ムラサキシジミ、シジミ類の飼育
マテハシイ	ムラサキツバ
ハンジュー、ヒオラ	ツマクローバー、ウモン
タイワンホトトギス	ルリタテハ
ヨモギ	ヒメアカタテハ
エノキ	ゴマダラチョウ、テングチョウ
フジ	ルリシジミ、コムシジ
ユキヤナギ、コデマリ	ホシムシ
シダレヤナギ	コムラサキ
ススキ、ジュズダマ	クロコマチョウ

蝶の親しみ方 -3

我が家のバタフライガーデン マンション1階、南向き





将来への提言 緑のネットワーク

天竺川(豊中市)



天竺川は、服部緑地公園と神崎川をつなぐ
アゲハ、アオスジアゲハ
ツマキチョウ(多産)、モンシロチョウ、キチョウ
コマダラチョウ(多産)、アカタテハ、ヒメアカタテハ
ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、ベニシジミ

ツマキチョウ

蝶の親しみ方 -4 バタフライガーデンで出会えた蝶



蝶の親しみ方

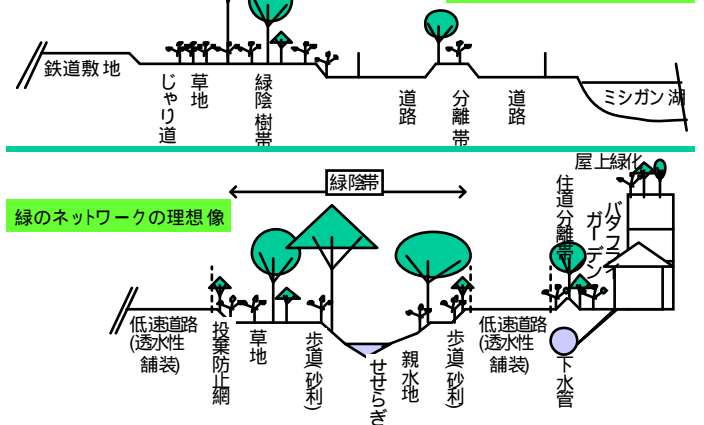
他の趣味への発展 蝶が好きになると、自然のことを知る必要があります。それが発展して、蝶のことをは頭の片隅に、ほかの趣味にはまる人が多くいます。

- 旅行・登山** 蝶を始めると、全国の蝶や高山蝶を見たくなり、そのついで旅行や登山に。
- 園芸・植物** 多くの食草・食樹を育てることや、野山や高山であった野草観察に。
- 他の昆虫** 天敵の観察からいろんな昆虫やクモなど。
- 写真** 環境ボランティア



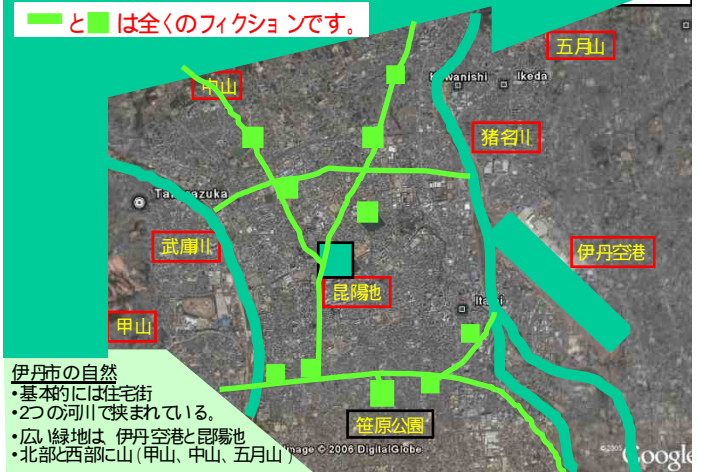
将来への提言 緑のネットワーク 構造

シカゴの緑陰ベルトの模式図



将来への提言 緑のネットワーク

著作権はGoogleにあります
<http://maps.google.co.jp/> Google



伊丹市の自然
・基本的には住宅街
・2つの河川で挟まれている。
・広い緑地は、伊丹空港と昆虫地
・北部と西部に山(甲山、中山、五月山)

将来への提言 緑のネットワーク

伊丹市のような都市部でも、蝶をはじめとした生き物が豊かになるにはどうすればいいのでしょうか。蝶がある場所から世代を繰り返すには、移動条件(その場所に移動して来られること:近くに生息場所がある、移動経路がある)・生息条件(その場所が生息に適していること:気候、化学的環境、生態系(食草、エネルギー源、天敵)、休息場所等)が満たされる必要があります。山地と異なり、人の多くすむ都市部では蝶の移動には、河川および公園や空き地などの緑地の分布によるネットワークが大きな役割を果たしていると考えられます。これらのネットワークが幼虫の持続的な生息地となる大公園を結べば、蝶が次々と周りから供給され、種も代々続くでしょう。



ご静聴ありがとうございました